

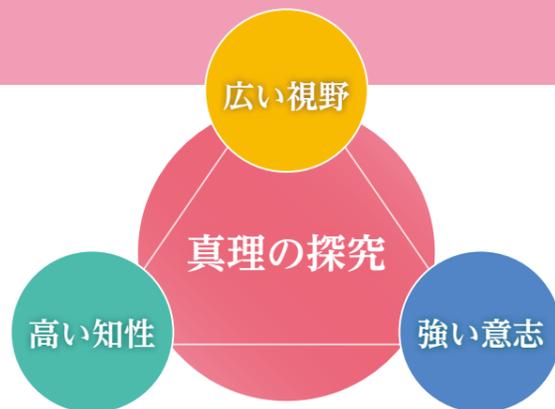
東京都立 桜修館中等教育学校

令和6年度 学校案内





真理の探究



スクール・ミッション

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

グラデュエーション・ポリシー

- ①**高い知性**：確かな学力を身に付け、論理的に考えて課題を解決する力や自主的な表現力を身に付ける。
- ②**広い視野**：生命を大切にし、他者を思いやる心や人権を尊重する態度と国際社会に貢献しようとする態度を身に付ける。
- ③**強い意志**：困難な課題に対して、勇敢に立ち向かって根気よく解決する精神力と体力を有し、責任をもって行動する姿勢を身に付ける。

■ 校長あいさつ

校長 石崎規生



本校は、旧制府立高等学校、東京都立大学附属高等学校の歴史を受け継ぎ、平成18（2006）年に新たな中高一貫校として開校しました。「桜修館」の校名は、戦前から引き継いだ校歌の中の「崇高き姿の不二の峰 国の誇りの桜花」から名付けられています。

最寄りの都立大学駅から柿の木坂を上り、旧都立大学跡地のめぐる区民キャンパスに入ると、青々とした木々が私たちを出迎えてくれます。キャンパス内のパーシモンホールはクラシックの演奏会が行われるコンサートホールで、本校の合唱コンクールもここで行われます。敷地内の八雲中央図書館では、放課後に勉強する生徒の姿が見られます。美しい木々の緑に囲まれた環境の中で、生徒たちは充実した毎日を過ごしています。

本校は「真理の探究」を校訓とし、6年間の一貫した教育活動で、高い知性、広い視野、強い意志の3つを育み、「世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する」ことを教育方針としています。

全員が参加する台湾修学旅行をはじめ、希望者を対象とし、2週間のホームステイを行うオーストラリア海外語学研修、アメリカの大学で学生との交流や大学の授業等に参加する海外大学リーダー育成アメリカ研修といった、広く国際社会に目を向ける機会を予定しています。さらに、4・5年生で週2時間学ぶことができる、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ハンガールといった第二外国語を設置しているのも本校ならではの特色です。

また、論理的な思考力や表現力を育成することを柱の一つとし、「国語で論理を学ぶ」、「数学で論理を学ぶ」と呼ぶ本校独自の教科を設置しています。さらに5年生では、探究的な学びの集大成として、研究論文を作成します。

これからの時代では、学校で学んだことや、すでに身に付けた能力よりも、新たな知識や能力を自ら獲得し、それを活用する力が求められます。そして、多くの仕事がAIにとって代わられるといわれる将来の社会に向けて、「学び方」を学び、生涯にわたって自分自身をバージョンアップさせていく力を身に付けることを目指します。

学校行事では、クラスマッチ（体育祭）、記念祭（文化祭）、合唱コンクールの3大行事を自治会（生徒会）が中心になって生徒自身で運営し、充実した思い出に残る行事を作り上げています。部活動では、全国大会に出場する弓道部をはじめ、どの部活動でも熱心に取り組む姿が見られます。ところで、中等教育学校である本校の最大の特徴の一つは、6年間を同じ仲間過ごすことにあります。時には思うようにいかないことがあっても、お互いに優しさや思いやりの心を大切にし、助け合い励まし合いながら6年間を過ごした仲間は、生涯の友人として皆さんのかけがえのない宝物となることでしょう。

皆さんも桜修館中等教育学校で充実した6年間を送り、一生の宝物を見つけてみませんか。

沿革

- 1929年2月 府立高等学校（尋常科4年、高等科3年の7年制）として、東京市麹町区永田町にて設立
- 1932年4月 東京府荏原郡碑衾町（現所在地）に移転
- 1943年7月 東京都制の実施に伴い、都立高等学校と改称
- 1948年4月 新学制により、東京都立新制高等学校に改組
- 1949年4月 男女共学制実施
- 1949年12月 東京都立大学附属高等学校と改称
- 2006年4月 東京都立桜修館中等教育学校、開校
（東京都立大学附属高等学校は2011年3月をもって閉校）
※校章、校旗、校歌は府立高等学校以来のものを使用しています

高い知性 論理を学ぶ

前期課程では独自の教科「国語で論理を学ぶ」「数学で論理を学ぶ」で、論理的な思考力・表現力を養います。

国語で 論理を学ぶ

国語で論理を学ぶ(以下「国論」)では、「話す」「聞く」「読む」「書く」という国語の4領域において、論理的に考えたり、分かりやすく相手に伝えたりする力を身に付けます。1年生では情報の集め方を学び、根拠を示して説明することができる力を付け、2年生では思考の視覚化やメディアの比較などを行います。3年生では具体と抽象の関係に注意して読解したり、文章を書いたりする方法を学び、説得力のある小論文を書くことを目指します。



数学で 論理を学ぶ

数学で論理を学ぶ(以下「数論」)は、真理の探究のための大切な基礎となります。数量、図形等を題材にして、論理的に考察し解決できる能力を身に付けます。深く思考し、法則や規則性を他者と協力して見つけ、相手に分かるように論理的な説明をすることを、個人やグループで行います。3年生では和算を学び、算額の問題を作り、算額コンテストに応募します。統計分野についても学び、データを根拠に説明し、表現する力を身に付けます。

桜修館の特色

6年間の一貫した教育を通して、幅広い教養と発展的な学習内容を扱い、高い知性の定着を図ります。

■ 少人数・習熟度別授業

英語(2・3年生)で少人数授業、英語と数学(4・5年生)で習熟度別授業を実施しています。それぞれの生徒の学習進度に合わせて、きめ細かい指導を行っています。

■ 選択授業

5年生以降では希望の進路に応じて必要な科目を選択します。国立大学受験に対応した授業を行っています。

■ 土曜授業

年間20回程度の土曜授業を実施し、授業での学びを大切にしています。前期課程では幅広くバランスのとれた学力を身に付け、後期課程では全科目を重視して広く教養を身に付けさせるとともに、進路実現に向けた確かな学力の向上を目指しています。

■ 講習

校内で例年60講座程度の夏期講習を実施しています。それぞれの学習進度や進路希望に応じて、本校教員が実施する多彩な講座から生徒が自由に選択します。

■ チューター

卒業生がチューターとして月曜日～金曜日の夕方と、授業のある土曜日の午後に来校しています。勉強の質問や進路相談ができる環境を整え、自学自習を支援しています。

■ 第二外国語

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ハンガルの講座を設置しており、4・5年生の希望者が選択できます。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を養うとともに、言語だけでなくその言語圏の文化に対する理解を深めます。

教育課程表 (令和6年度入学生)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	自由選択科目
1				現代の国語(2)	論理国語(2)	論理国語(2)	第二外国語
2	国語 140(4)	国語 140(4)	国語 140(4)	言語文化(2)	古典探究(3)	政治・経済	フランス語(2)
3						スペイン語(2)	ドイツ語(2)
4				地理総合(2)	倫理(2)	体育(2)	スペイン語(2)
5	国論Ⅰ 35(1)	国論Ⅱ 35(1)	国論Ⅲ 35(1)	歴史総合(1)注6	数学Ⅱ(1)	英語 コミュニケーションⅢ(4)	中国語(2)
6	社会 105(3)	社会 105(3)	社会 140(4)	公共(1)注6	数学C(1)		ハンガルの(2)
7				数学Ⅰ(2)	数学B(2)	英語 コミュニケーションⅢ(4)	第6学年
8				数学Ⅱ(2)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)		地理探究演習(2)
9	数学 140(4)	数学 140(4)	数学 140(4)	数学A(2)	日本史探究 世界史探究(4)*	論理・表現Ⅲ(2)	数学ⅠA演習(2)
10					化学(3)		数学ⅡBC演習(2)
11	数論Ⅰ 35(1)	数論Ⅱ 35(1)	数論Ⅲ 35(1)	物理基礎(2)	生物(3)*	古典探究演習(3)	理系古典演習(2)
12				化学基礎(1)注6	地理探究 地学基礎(2)*		情報演習基礎(2)
13	理科 140(4)	理科 140(4)	理科 140(4)	生物基礎(2)	世界史探究演習A 日本史探究演習A 地理探究(2)*	世界史探究演習B 日本史探究演習B 文学国語(3)*	理系数学演習(2)
14				情報Ⅰ(2)	物理演習 生物演習(3)*		歴史総合演習(1)
15	保健体育 105(3)	保健体育 105(3)	保健体育 105(3)	体育(2)	保健(1)	文系数学発展演習(4) 情報演習(2) 現代文演習(2) 化学演習(4) *	地理総合演習(1)
16				芸術Ⅰ(音美書)(2)*	英語 コミュニケーションⅡ(4)		政治経済演習(1)
17	音楽 45(1.3)	音楽35(1)	音楽35(1)	英語 コミュニケーションⅠ(3)	論理・表現Ⅱ(2)	自由選択科目 文系(0~6) 理系(0~6) **	倫理演習(1)
18	美術 45(1.3)	美術35(1)	美術35(1)	英語 コミュニケーションⅡ(4)	家庭基礎(2)		物理基礎演習(1)
19	技術・家庭 70(2)	技術・家庭 70(2)	技術・家庭35(1)	論理・表現Ⅰ(2)	総合探究(1)	総合探究(1)	化学基礎演習(1)
20				LHR(1)	LHR(1)		生物基礎演習(1)
21	英語 140(4)	英語 140(4)	英語 175(5)	第二外国語(2)	第二外国語(2)	LHR(1)	地学基礎演習(1)
22							情報演習(1)
23	道徳35(1)	道徳35(1)	道徳35(1)			LHR(1)	英語演習(2)
24	総合50(1.4)	総合70(2)	総合70(2)				フードデザイン(2)
25	学活35(1)	学活35(1)	学活35(1)			LHR(1)	音楽Ⅱ(2)
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
	1120時間(32)	1120時間(32)	1155時間(33)	33~35単位	33~35単位	26~32単位	

生徒の声

数論や国論といった論理の授業だけでなく、様々な教科で「論理的に考えること」「文章を書くこと」「話し合いをすること」が求められます。それらの活動を通じて、実践的な論理的思考力や表現力が身に付けられていると思います。

桜修館では、文理を問わず満遍なく様々な教科を学ぶことができます。私は文系ですが、しっかりと理科や数学も学び、幅広く基本的な教養を身に付けることができ、進路選択においても、それがとても役立ちました。

教科の特色

国語



論理的な思考力と表現力を育成します

自ら課題を発見し、論理的に解決し、適切に表現できる力を育むため、1, 2年生を「基礎・探究期」とし、ノートの取り方や辞書の引き方や言葉の使い方、文章の読み取り方や自分の考えを適切に表現することを学びます。そして3, 4, 5年生を「応用・充実期」とし、様々なテーマの文章を探究的に読解することで論理的思考力や表現力を学びます。6年生は「総合・発展期」とし、より発展的な文章を読むことで実践的な読解力を身に付けます。継続的な読書への取り組みや新聞記事の活用、発表などの言語活動を通じて、生涯にわたって必要な言葉の力を身に付け、自分の力で真理の探究が出来る生徒を育てます。

地歴・公民



国際社会に生きる民主的・平和的な国家及び社会の形成者を育成します

社会科では、社会に生きる人間としての在り方・生き方を考えます。地理的分野では、地理院地図などインターネット上のGISを活用し、空間的な視点から課題を考察します。歴史的分野では討論やレポート作成を通じて時間的な視点から課題を考察します。それらの基礎の上に、模擬裁判や模擬選挙などを通じて現代社会の視点から公民的資質を養い、社会的事象に関する幅広い知識とともに、資料を読み取る方法や分かりやすく表現する方法も身に付けます。社会的事象について多面的・多角的に考察し、現代社会における課題を追究する態度を育成していきます。

数学



問題を解くだけでなく、数学の楽しさを体得します

6年間を通じて、数的類推力と論理的思考力を育成します。前期課程では、週4時間の授業を「代数」と「幾何」の2種類に分けて実施します。代数では数式や関数を、幾何では図形を中心に扱います。後期課程では、個々の希望や実力に応じた教育を行うために、習熟度別学習を実施しています。また、5年生では文系・理系などの進路に応じて学習内容を選択します。学習指導要領の内容を5年生までにほぼ終え、6年生は演習を中心に行います。分からないところは根気強く反復していくうちに、問題を解くだけでなく数学の世界を味わい、学ぶ楽しさを体得していきます。

理科



基礎能力を身に付け、思考する力を育てます

中等教育学校の利点を生かし、前期課程から物理、化学、生物、地学の4分野に分かれ、それぞれの学問領域を体系的に学習します。自然現象についてより深く考えるために、1年生の授業から実験、観察の機会を多く設け、考察する活動を軸に授業展開しています。理科はなぜ？ どうして？ という疑問点を見つけ、答えを導き出す論理的思考力が欠かせない学問です。理科の中で培った論理的思考力は、将来生きていく上で必要な問題解決力となります。あらゆることに興味関心をもち、考えぬいて解決する学びの過程を楽しみと感じられる人に、桜修館の門を叩いてほしいと願います。

英語



4技能をバランスよく伸ばし、世界に通用する英語力の向上を目指します

少人数クラス（2～5年生）で、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく伸ばします。6年間一貫して英文を読む、聴くというインプット活動を土台に、前期課程ではスキット暗唱、劇、スピーチ、作文などのアウトプット活動を行い、英語で思考・発信する力を養います。後期課程では、様々な題材の英文を、意味のつながりや文構造を理解して正確に読む力を養い、作文、スピーチ、プレゼンテーション、ディベートなどのアウトプット活動で、より高度で複雑な内容を英語で理解・表現する能力を養います。

技術・家庭

自立を目指し、家族や社会との かかわりも大切にする力を育てます

家庭科では衣・食・住を、技術では材料・エネルギー・生物育成・情報など、健康で豊かな生活を送るために必要なことを学びます。また、生活に必要な知識や技術の習得のほかに、物事を科学的にとらえることを意識します。生活の中の日本の文化について考えたり、生活に密着する諸問題について考えることで、幅広い視野を持った人物を育てます。

音楽

表現活動と鑑賞を通し、 音楽を愛好する精神を育てます

歌唱（独唱、合唱）、器楽（箏や太鼓等のアンサンブル）、創作、鑑賞（西洋の音楽や日本の伝統音楽）を扱います。前期課程では感性を刺激する様々なジャンルの音楽に触れながら、音楽を愛好する精神を育てます。後期課程では、より専門的な内容を扱い、音楽表現を工夫したり根拠を持って批評したりする思考力を身に付けます。

美術

創造活動と鑑賞を通し、表現する力、 伝える力を身に付けます

前期課程は、基礎的な色と形の表現を段階的に学びます。絵画、デザイン、立体造形などの制作を通して、表現すること、鑑賞する楽しさを味わいます。全ての活動を通して、表現する力、伝える力を育てていきます。後期課程は、前期課程で学んだことを活かし、素描、絵画、工芸など幅広い表現方法を学びます。制作と鑑賞を充実させ、表現する力を追求していきます。



保健体育

運動を論理的に考え、 実践できるようにします

1, 2年生では、運動の基礎基本の習得と仲間づくりを目指します。3, 4年生では、各運動能力の向上、公正、協力、責任などの態度の習慣化を目指します。5, 6年生では、個を生かす教育の充実と豊かなスポーツライフの基礎作りの観点から生徒が運動種目を選択し、自主的に試合運営を行います。また、学習カードなどを活用し、運動を論理的に考えることも行います。

情報

高度情報社会を生き抜くための 力を育みます

情報科は高等学校で初めて学ぶ教科ですが、大学受験の共通テストで必修教科となりました。本校の情報科の授業ではPythonというプログラミング言語を取り上げ、数学的な問題、あるいは現代社会が直面する様々な実際の課題に情報科学がどのようにアプローチできるのか、プログラミングの実践的な取り組みの中で考えていきます。未来を生きる大切な力の一つとして身に付けるために、共に学びましょう。

広い視野 国際理解

6年間を通して、海外語学研修、海外修学旅行、海外大学研修などの国際理解教育に取り組み、国際社会を担う人材を育てます。



・オーストラリア海外語学研修

夏季休業中にオーストラリア・クィーンズランド州でホームステイをしながら現地の高校に通学し、英語のレッスンの受講や現地の生徒達と一緒に授業を受けます。英語のコミュニケーション能力の育成や異文化理解など、今後のグローバル社会で必要となる力を身に付けることを目指します。



参加生徒の声

ホームステイも海外の学校に通うのも初めての経験で、10日間しっかりやれるのか不安だったが、みな親切でうなずきながら話を聞いてくれて、自分の英語で現地の人たちと交流できていると実感でき嬉しかった。オーストラリアの文化は日本と違い驚くことも多かったが、その違いも楽しむことができ、良い経験になった。

・海外大学リーダー育成アメリカ研修

アメリカの世界トップレベルの大学を訪問し、キャンパス見学や、教授、大学生と交流することで、国際的視野で物事を考えることができる、グローバルマインドを備えたリーダーとしての資質を育成します。また、海外で活躍している日本人や、アメリカの同年代の高校生との交流、現地企業への訪問を通して、グローバル社会における世界の見方、これからの国際社会、国際交流の在り方を学びます。※令和4年度は未実施。

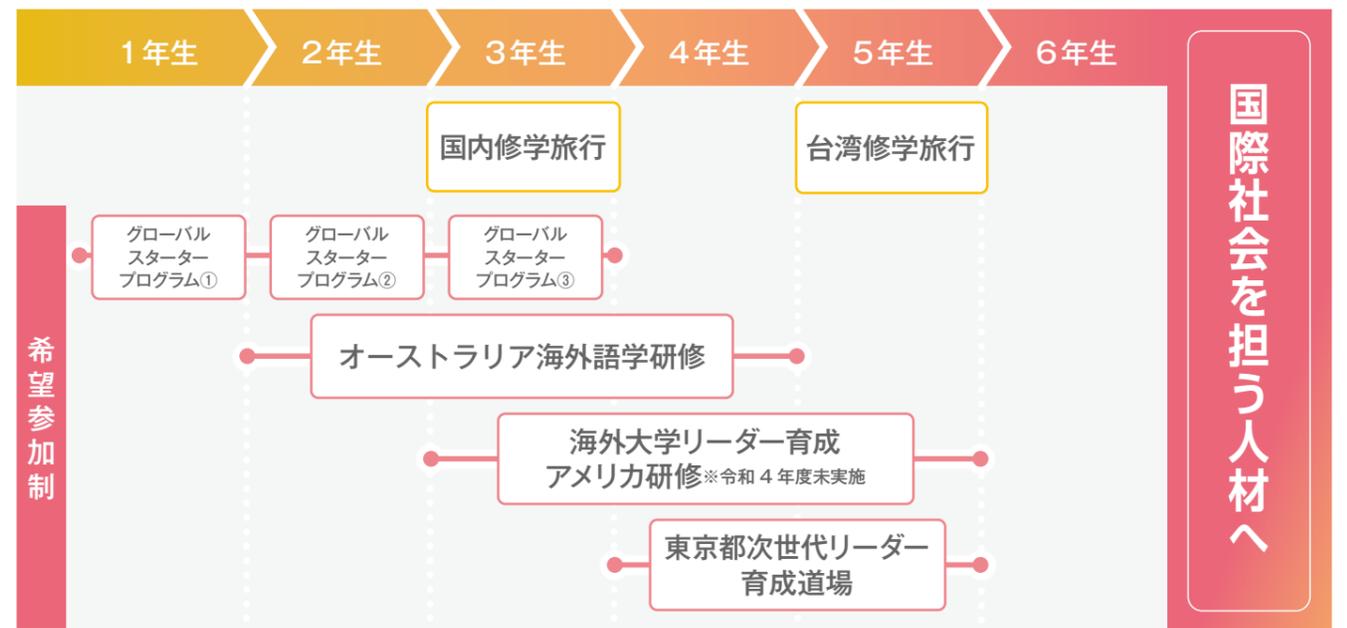
・グローバルスタータープログラム

外国人学生との交流を通じて、英語によるコミュニケーション能力を高め、さらには今後グローバル社会で必要となるグローバルスキルとマインドを養うことを目的として行われます。

6～7名のグループに国内の難関国公立・私立大学に所属している外国人留学生がグループリーダーとしてつき、様々なアクティビティやディスカッションを通して、英語によるコミュニケーション能力や国際感覚を身に付けます。

参加生徒の声

グループリーダーの人が分かりやすく、ジェスチャーを交えて伝えてくれた。また、班のみんなで教えあって、協力しあって取り組むことが出来た。発表をするなど実践的な内容が多く、普段の英語の授業とは違って、英語を楽しんで活用することが出来た。



・学校間交流

1年間を通じて海外の学生の訪問やオンラインでの交流を積極的に受け入れています。令和4年度はモンゴル、インドネシア、カンボジアの学生との交流を実施し、互いの国の文化を紹介するなどして国際交流を行いました。



参加生徒の声

インドネシアの方々が私たちのプログラムを楽しんでくれた印象だったのでとても嬉しかった。一番印象に残ったことはインドネシアの方々英語を堂々と話していたことである。私は自信がないとき消極的になってしまうことがよくあるので、これからは間違いよりも伝えることを意識するべきだと思った。

・東京都次世代リーダー育成道場

国内事前研修で様々なことを学び、その成果をもって留学にチャレンジする都立高校生等を支援する東京都教育委員会の実施するプログラムです。約半年の事前研修を経て、約11カ月の海外研修に参加します。

・桜修館グローバルシンポジウム

1年間の国際理解教育の成果を発表します。令和4年度はオーストラリア海外語学研修の他、東京都主催の「子供政策先進事例国（フィンランド）高校生派遣研修」、「次期開催都市パリへのオリンピック・パラリンピック教育の継承事業」に参加した生徒による発表を行いました。



・海外大学合格者数推移

大学名	設置区分	国名	令和5年	令和4年	令和3年
Grigore T. Popa University of Medicine and Pharmacy	公	ルーマニア	1		
Juniata College	私	米		1	
Marietta College	私	米		1	
Beloit College	私	米		1	
Lycoming College	私	米		1	
Coe College	私	米		1	
Drury University	私	米		1	
University of California, Riverside	公	米			1

強い意志

自由と自治

本校の学校行事は、生徒が自ら考え企画から運営まで行っています。仲間と協働することを通じて、社会性、リーダーシップ、協調性を育みます。



4月

- 入学式
- 1学期始業式
- 1年生移動教室

5月

- クラスマッチ (体育祭)
- 生徒大会

6月

- 1学期中間考査
- 授業公開週間

7月

- 4年生ようこそ小学生
- 3・5年生フィールドワーク
- 2年生歌舞伎教室

8月

- 夏期講習
- 部活動合宿
- オーストラリア海外語学研修

9月

- 記念祭 (文化祭)
- 1学期期末考査

10月

- 1学期終業式
- 2学期始業式
- 2年生職場体験
- 4年生ようこそ小学生

11月

- 授業公開週間
- 生徒大会
- 3年生国内修学旅行
- 3・4年生学フォーラム
- 5年生台湾修学旅行

12月

- 2学期中間考査
- 1年生美術館・博物館めぐり
- 4年生地域防災訓練

1月

- 2年生スキー教室

2月

- 合唱コンクール
- マラソン大会
- 生徒大会

3月

- 学年末考査
- 卒業式
- 4年生大学講話
- 修了式
- 海外大学リーダー育成アメリカ研修
- グローバルスタープログラム

※年度により多少変更があります



令和5年度 クラスマッチ幹部長

クラスマッチとは、桜修館独自の体育祭のことです。その名の通り、6学年がA,B,C,Dのクラスごと青・黄・緑・赤の色別に分かれ、3日間に渡りさまざまな競技を行って勝利を目指します。学年の垣根を超えて応援し合い勝利を目指すので、横のつながりも縦のつながりも重要な行事です。先輩たちの活躍する姿を見て憧れを抱いた後輩たちが次のクラスマッチを盛り上げるといって受け継がれています。そのようなクラスマッチを企画・運営するのが私たち幹部です。学校行事を作り上げるという貴重な経験を通して、大切な仲間と出会い達成感や充実感を得ることができます。



令和5年度 記念祭幹部長

記念祭とはいわゆる文化祭のことです。令和5年度は9/9,10に開催されます。2日間に渡る記念祭では、生徒主体で展示や劇、食物模擬、校内装飾などをその年のテーマに沿って行います。今年のテーマは「世界旅行」です。また、クラスマッチや合唱コンクールと同様、記念祭でも幹部制による運営が行われています。今年も60人を超える生徒が「記念祭幹部」として活動しています。幹部の活動は主体性を育みます。また仲間と過ごす日々は最高の青春となります。幹部長として仲間と共に作り上げるこの1年が桜修館でのかけがえのない思い出になると確信しています。



令和4年度 合唱コンクール幹部長

合唱コンクールを含む桜修館の三大行事は、生徒主体で行われています。幹部活動では、他者との関わり方や学業との両立、人前で話すスキル等、社会に出てから生きるであろう様々な力を養うことができ、人として大きく成長できます。合唱コンクールは学校の隣のめぐるパーシモンホール等で開催されます。合唱コンクールの魅力は、各クラスで団結して色のある合唱を創りあげる過程にあると思います。金賞を目指して練習に励む日々やホールいっぱいに広がる歌の響き、1年間ともに過ごしたクラスメイトとの絆が詰まった歌声は、誰にとっても、一生忘れられない思い出になります!!



探究学習

多彩な授業、国語で論理を学ぶ、数学で論理を学ぶ、国際理解教育等を通じて興味関心の幅を広げ、探究学習へ進みます。「真理の探究」を校訓としている本校では、1年生より論文作成に取り組みます。



1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
論文の書き方を学習し、自分の意見をまとめる。	様々な調査活動をもとにして、意見をまとめる。	修学旅行などをテーマにして、調査活動をもとにした考察をまとめる。	数か月の準備・研究・取材期間を通して、課題に対する意見をまとめる。	4年生までの学びを生かして、課題設定・検証結果・考察結果を備えた5000字の研究論文を作成する。	5年生で作成した論文を英訳する。

国論数論でも、論理的な考え方・まとめ方・伝え方を学びます

4年生では外部から講師を招き、テーマ決めや書き方の指導を行っています。

5年生では桜修館での集大成として、自分自身でテーマを決めて1年間かけて5000字の研究論文を作成します。1人の教員に4名ほどの生徒が付き、ゼミ形式で指導を受けながら1年間かけてまとめます。

論文最優秀賞タイトル

令和4年度
 文系 大都市圏における公立中学校の統廃合とその影響について～目黒区立大鳥中学校を事例に～
 理系 空気抵抗及び動摩擦力の測定と数値解析的手法による考察

令和3年度
 文系 戦後ベストセラー小説における文体の変遷
 理系 社会的自己制御が窃盗症に及ぼす影響
 鉛筆はとがった状態を保つべきか
 インターネットでの音楽視聴によるヒット曲の時間の変化



理数研究



『生徒の学習や研究の支援』と『専門機関と連携した先端科学実験の充実』

本校は東京都より理数研究校の指定を受け、理数分野への学習や研究に主体的に取り組む生徒を支援する取り組みや、外部機関と連携した取り組みを行っています。これらの本物に触れる体験を重視したキャリア教育を通じ、生徒の高い知的好奇心を刺激し、理数分野に関心をもつ生徒の裾野を広げ、探究活動への関心を高め、学習・探究の動機づけとすると共に、生徒の素質や才能、力を伸ばしていきます。

1 東京大学生産技術研究所による科学部生徒への研究協力

科学部では外部機関からの研究協力も受けながら、研究活動を行い、誌上発表、ポスター発表、口頭発表を行っています。研究テーマ「セメント表面における光触媒能の評価と温度応答性保水材料の応用～SDGsの達成に向けたCool & Cleanな材料の開発～」は、以下の賞を受賞しました。

- 令和5年度 第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会 最優秀賞（口頭発表部門化学部門1位）
- 令和4年度 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 奨励賞（ポスター発表部門全国4～8位）
 東京都理科研究発表会
 ポスター発表 化学部門優秀賞
- 令和3年度 東京都理科研究発表会 最優秀賞（東京都総合・化学部門第1位）

2 外部機関と連携した実験教室や講演会の実施

- ・東京大学大学院 医学系研究科 生体情報学教室 研究室見学
 - ・探究活動に関するガイダンス（京都大学学びコーディネーター事業）
 - ・慶應義塾大学 理工学部応用化学科 分析化学研究室による実験教室
 - ・京都大学大学院 医学研究科 博士課程在籍の学生による講演会
 - ・東京大学サイエンスコミュニケーションサークル(CAST)による実験教室
 - ・桜修館サイエンスフォーラム
 - ・オリンパス株式会社による体験型学習
 - ・電気通信大学 高大連携・基礎プログラミング
 - ・東京工業大学高校生のための先端科学・技術フォーラム
 - ・東京大学先端科学技術センター研究室インターン
- ※令和元年度～5年度の一例です。

3 各種科学コンテストに対する支援

- 令和5年度**
- ・第19回国際地理オリンピック・バンドン（インドネシア）大会 日本代表として出場 銅メダル
 - ・化学グランプリ2023 金賞（全国上位20位以内）銀賞（全国上位40位以内）
 - ・第19回全国物理コンテスト物理チャレンジ2023 女子最優秀賞（東京理科大学賞）
 - ・日本生物学オリンピック2023 敢闘賞
 - ・科学の甲子園東京都大会 総合成績3位 実技競技2位
- 令和4年度**
- ・化学グランプリ 二次選考出場 銅賞
 - ・数学オリンピック 優秀賞
 - ・科学地理オリンピック 金メダル
 - ・科学の甲子園ジュニア東京都大会 優秀賞（実技I部門）
 - ・科学の甲子園東京都大会 総合成績5位

参加生徒の声

科学オリンピックに向けて先生方が二か月間の特別講義を休みに開いてくださいました。また、科学の甲子園では出場経験のある卒業生方が指導に来てくださり、チームメイトと実技競技を試行錯誤しながら行いました。どちらも学年を超えて一緒に勉強したことはとても楽しく貴重な経験になりました。先生方や先輩方にも相談しやすく、興味のある分野の学びを深められる学校だと思っています。（5年生）

「サイエンスフォーラム」は、研究や科学オリンピックを経験された先輩や講師の方の発表に対し、活発に質疑応答が行われる、活気に溢れたものでした。また、「科学の甲子園ジュニア東京都大会」では、チームを組んだ友達と協力して課題に取り組みました。他にも実験教室等からは、良い刺激を受けることができました。桜修館へ入学して、互いに高め合える友達が沢山できたことに喜びを感じています。（2年生）

参加生徒の声

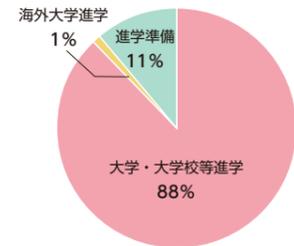


進路決定

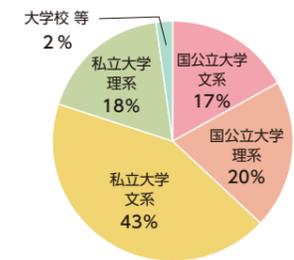
生徒自身の関心を軸に目標を設定し、進路決定に向かう中で高い志望をもち、困難なことに挑戦する態度を育てています。また、学校内外での生徒の主体的な活動を奨励することで、切磋琢磨しながらお互いを高め合う集団を作り、個人の力を高める支援を行っています。



令和5年3月卒業生(12期生) 進路内訳



令和5年3月卒業生(12期生) 大学進学者内訳



6年間の進路指導 ～学びの体系～

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
目標	自己を見つめる 目標を設定する	働くを知る 将来の夢を考える	自己の適性を知る 学問を考える	キャリアデザインを 考える	目標達成の力を 身に付ける	目標達成に向かい 進み続ける
キャリア行事	自己分析 職業調べ 職場見学	職業人講話 マナー講座 職業体験学習	上級学校調査 職業人講話 適性診断	オープンキャンパス 大学講話 職業人講話	オープンキャンパス 卒業生講話 難関大学説明会	難関大学説明会 特別時間割講習

過去3年間の主な大学合格者数推移

<卒業生数>

令和5年：156名 令和4年：147名 令和3年：151名

国公立大学	令和5年		令和4年		令和3年		国公立大学	令和5年		令和4年		令和3年	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役		合計	現役	合計	現役	合計	現役
北海道大学	3	1	6	6	3	3	山梨大学	1	1	1	1	1	1
東北大学	2	1	2	2	2	2	信州大学	1	1	1	1		
筑波大学	1	1	2	1	3	3	神戸大学		1				
埼玉大学			3	3			京都大学	5	5	1	1	2	2
千葉大学	2	2	6	5	3	3	大阪大学					2	2
東京海洋大学	1	1					奈良女子大学			1	1		
お茶の水女子大学	2	2	1	1	2	2	鳥取大学	1	1				
電気通信大学	1	1	2	2			九州大学					1	1
東京大学	1	1			4	3	琉球大学	2	2				
東京医科歯科大学	1	1			1	1	会津大学					1	1
東京外国語大学	2	2	3	2	3	3	高崎経済大学	1	1	1	1		
東京学芸大学	4	4	2	2	2	2	埼玉県立大学	1	1				
東京芸術大学	2						東京都立大学	3	3	3	3	2	1
東京工業大学	3	2	8	7	3	3	神奈川県立保健福祉大学	1	1				
東京農工大学	2	1			3	3	横浜市立大学	1	1			3	3
一橋大学	6	6	4	4	2	2	名古屋市立大学			1			
横浜国立大学	17	17	9	9	9	8	大阪府立大学					1	1
新潟大学			1	1	1	1	和歌山県立医科大学					1	1
富山大学			1	1	1	1	福岡県立大学					1	
金沢大学	1		2	1			国公立大学 合計	67	59	62	54	57	53

私立大学	令和5年		令和4年		令和3年	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役
青山学院大学	27	27	27	24	31	29
学習院大学	6	6	4	1	3	3
北里大学	6	5	5	5	5	3
慶應義塾大学	38	37	23	21	37	34
国際基督教大学			1	1	2	2
上智大学	22	20	14	12	33	32
中央大学	32	31	18	16	40	33
津田塾大学	1	1	3	3	4	4
東京女子大学	3	3	2	2	5	5
東京女子医科大学					1	1
東京慈恵医科大学			1	1	2	2
東京理科大学	42	40	39	31	29	27
同志社大学	1	1	3	3		
東北医科薬科大学					2	
日本医科大学	2	1	1	1		
日本女子大学	7	7	5	5	6	6
法政大学	55	55	26	21	15	13
明治大学	73	69	61	53	77	75
立教大学	45	40	19	16	25	25
早稲田大学	63	62	40	38	61	57
私立大学 合計	634	599	488	415	555	496
大学校等						
国立看護大学校	1	1			1	1
防衛医科大学校	1	1			1	1

卒業生より



令和5年3月卒業
東京大学 工学部（※学校推薦型選抜）1年

桜修館には、やりたいことは何でもできる環境が揃っています。私は自治会や行事の実行委員として学校運営に関わったり、科学部で研究活動をしたり、中庭を整備する有志団体を立ち上げたりと、充実した日々を過ごすことができました。また、何事にも全力で前向き、多才な桜修館生から多くの刺激を受け、大きく成長することができました。高校受験がない環境の中、机の上の勉強にとどまらない多くの経験をさせてもらったことは、自分の進路選択にも繋がりました。また、受験指導の面でも桜修館の先生方には大変お世話になりました。一人一人に丁寧に向き合ってください先生方のおかげで、特殊な受験形式でもしっかりと対策をすることができたことも、進路実現に繋がりました。みなさんも是非、桜修館で学びにあふれる充実した6年間を過ごしてください。



令和5年3月卒業
東京医科歯科大学 医学部 医学科 1年

桜修館は、生徒がやりたいことを全力でサポートしてくれる学校です。私は幹部として合唱コンクールの運営に携っていましたが、先生方が最後まで協力して下さり、コロナ禍に対応した形で開催することができました。他の行事も生徒が創意工夫を凝らして進化し続けています。また、行事や部活も充実しているので、スポーツや音楽など、1人1人が特技に打ち込むことができます。学業でも桜修館に本当にお世話になりました。常に、私の意思を尊重し、真摯に相談に乗ってくださいました。第1志望に合格できたのは先生方のおかげです。恵まれた環境で、個性豊かな同級生とお互いに刺激を受けながら過ごした6年間は人生の宝物です。皆さんもぜひ色々なことにチャレンジして、充実した学校生活を送ってください。



令和5年3月卒業
京都大学 法学部 1年

私は桜修館で、たくさんの友人と、さまざまなかけがえない時間を過ごすことができたと思います。6年のクラスマッチでは、クラスTシャツや団旗の制作に携わることができ、クラスの団結力を高める助けができて、充実した時間を過ごすことができました。また、私の大学受験において、自分と同じように頑張っている人が周りにいるという環境はとても良いものでした。不安や緊張といった感情を共有したりできたことは、受験期の心の支えになっていたと思います。また、長く教わってきた先生方の存在は精神面でも支えとなりました。みんなで一つの行事を作り上げたり部活を頑張ったりする楽しさや喜びは、6年間お互いをよく知っているからこそ得られるものが数多くありました。私は桜修館でそれらを感じられたことをとても嬉しく思っています。



令和5年3月卒業
一橋大学 社会学部 1年

桜修館は6年間を通して、好きなことに打ち込むことができる学校です。私自身、水泳部に所属しながら桜修館で出会った仲間とバンド活動を行いました。さらに私はクラスマッチ幹部を高3の5月まで、部活を8月まで続けました。最後の一年まで勉強一辺倒にならず、何事にも全力で取り組んだ経験はこれからの人生にも生きてくると思います。また、桜修館は同じメンバーで6年間過ごしていくため、かけがえない友達ができます。桜修館には好きなことに全力で取り組む人がたくさんいて、刺激を受けることが多々ありました。また、桜修館の先生方は生徒のやる気に全力で応えてくださいます。桜修館は卒業した今、最高の場所と感じています。みなさんも桜修館で充実した生活を送って欲しいと思います。

部活動

部活動が活発に行われており、運動系・文化系ともに多くの部が実績を残しています。



運動系

- 男子バスケットボール
- 女子バスケットボール
- 女子バレーボール
- サッカー
- 男子硬式テニス
- 女子硬式テニス
- バドミントン
- 陸上競技
- 水泳
- 剣道
- 野球
(前期課程：軟式
後期課程：硬式)
- 弓道

文化系

- 吹奏楽
- フィールドワーク
- 日本文化
(かるた班・茶道班)
- 創作
- 写真
- 美術
- 科学
- 軽音楽
(後期課程から)

令和4年度部活動 実績

- **弓道部**
前期：中学校関東大会・全国大会に出場多数
個人全国優勝、団体全国2位の実績あり
後期：高校関東大会6連続出場中、全国総体4連続出場中
全国選抜大会個人優勝、関東大会個人優勝、東日本大会団体準優勝の実績あり
- **日本文化部 (かるた班)**
・小倉百人一首かるた第44回全国高等学校選手権大会 D級優勝・準優勝
・第29回全国競技かるた多摩大会 D級準優勝・3位
- **科学部**
・全国高等学校総合文化祭自然科学部門 ポスター発表 奨励賞 (全国4~8位相当) 受賞
・東京都理科研究発表会 化学部門 ポスター発表 優秀賞受賞
※令和5年度全国高等学校総合文化祭 (かごしま総文) 出場内定
- **陸上競技部 (前期)**
・第49回全日本中学校陸上競技選手権大会 中学男子四種競技出場
・第50回関東中学校陸上競技大会 中学男子四種競技、中学1年男子走幅跳、中学女子走幅跳 3名出場
- **吹奏楽部**
・東京都中学校吹奏楽コンクール B組 銀賞

その他実績

- ・数学 第25回算額を作ろうコンクール 銀賞・銅賞
第69回東京都統計グラフコンクール (第4部、パソコン統計グラフの部) 佳作
第32回日本数学オリンピック 本選出場
- ・国語 新宿区夏目漱石コンクール 朝日新聞社賞、新潮社賞、二松学舎大学賞、くまもと賞、佳作
感動作文コンクール 佳作
私の折々のことばコンテスト2022 鷲田清一賞
中学生の主張 東京都大会 奨励賞
「中学生の主張」東京都大会 東京都教育委員会賞 (2位)
「高校生書評合戦 (ビブリオバトル)」都大会 最高賞 (1位)



桜修館の1日

7:30 - 8:15 登校



8:15 - 8:20 朝学習・朝読書

落ち着いて1日を始めます。

8:20 - 朝学活

8:35 - 12:25 1~4 時間目授業



50分授業です。

12:25 - 13:00 給食



前期生は給食があります。校内で作っている温かく美味しい給食です。

13:00 - 13:15 昼休み

委員会を行うこともあります。

13:25 - 15:15 5,6 時間目の授業



学年によって7時間目があります。

15:20 - 終学活

放課後



部活動や委員会があります。図書館が開いており、利用する生徒も多いです。最終下校は17:00です。部活動は18:00まで活動することもあります。



放課後に先生に質問にいく生徒の姿もよく見られます。

制服



性別に関係なく

制服 (ジャケット、スラックス、スカート等) を自由に選べます

- 濃紺をベースとしながら、生地の中に緑色の糸を縫い込んで、光の当たり方で微妙に色合いが変化するように作られています。
- プレザー、スラックスまたはスカート、ネクタイまたはリボンは全員着用です。
- 本校指定のセーター、ベスト(冬用・夏用)があります。夏のシャツは半袖でもかまいません。
- 後期課程ではネクタイとリボンのデザインが変わります。
- 靴と鞆の指定はありません。

施設

八雲の丘に立地し、美しい木々に囲まれた校舎で6年間を過ごします。桜修館での6年間を支える施設設備が充実しています。



プール



体育館



グラウンド



テニスコート



柔道場



弓道場



パソコン室



図書館

入試情報

令和6年度の内容を掲載しています。

1. 日程

事項	一般 枠 募 集
出願	〔入力期間〕 令和5年12月21日(木)から令和6年1月18日(木)まで 〔書類提出期間〕 令和6年1月12日(金)から令和6年1月18日(木)まで ※入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイトに志願者情報等を入力することができる期間のことである。 ※書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を本校へ提出する期間のことである。
検査	令和6年2月3日(土)
発表	令和6年2月9日(金) 午前9時
入学手続	令和6年2月9日(金) 午前9時から午後3時まで 令和6年2月13日(火) 午前9時から正午まで

2. 募集人員

事項	一般枠募集	合計
男子	80名	160名
女子	80名	

※ 特別枠募集は、実施しません。

3. 応募資格

- (1) 令和6年3月に学校教育法に定める小学校またはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者。
- (2) 保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者または保護者とともに入学日までに都内へ転入することが確実な者。

4. 出願

本校を志願する者は、他の東京都立中等教育学校及び東京都立中学校(以下、「都立中学校」という。)並びに千代田区立九段中等教育学校への出願はできません。また、他の都立中学校の特別枠募集への出願もできません。

- (1) 出願方法 インターネットを活用した出願を行い、かつその他出願に要する書類については、特定記録郵便(上記書類提出期間に、本校が指定する郵便局に必着(郵便局留))により郵送したものを受け付ける。
- (2) 出願に要する書類等 ア 入学願書、 イ 報告書、 ウ 応募資格審査関係書類(該当する者のみ)、 エ 入学考査料 2,200円

5. 報告書の取扱い

報告書は、「各教科の学習の記録(5・6年)」について別表に基づいて点数化します。「総合的な学習の時間」等のその他の欄については点数化しません。

- (1) 報告書
 - ・ 報告書は、評定(3、2、1)について、別表により点数化します。
 - ・ 報告書の満点は、450点とします。
 - ※450点満点で報告書点を算出し、総合成績算出時に300点満点に換算します。

各教科の学習の記録	教科	評定					
		5年			6年		
		3	2	1	3	2	1
国語	25	17	9	25	17	9	
社会	25	17	9	25	17	9	
算数	25	17	9	25	17	9	
理科	25	17	9	25	17	9	
音楽	25	17	9	25	17	9	
図画工作	25	17	9	25	17	9	
家庭	25	17	9	25	17	9	
体育	25	17	9	25	17	9	
外国語	25	17	9	25	17	9	
評定の換算得点の満点		225			225		
報告書の満点		450					

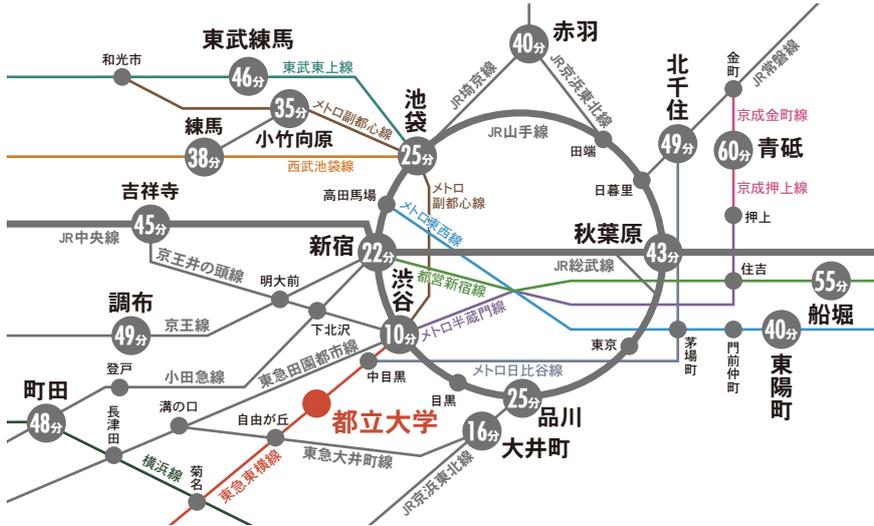
6. 適性検査

- (1) 適性検査Ⅰ
文章の内容を的確に読み取ったり、自分の考えを論理的かつ適切に表現したりする力をみる。
① 独自問題
- (2) 適性検査Ⅱ
資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力をみる。
① 独自問題 ② 共同作成問題 ③ 共同作成問題

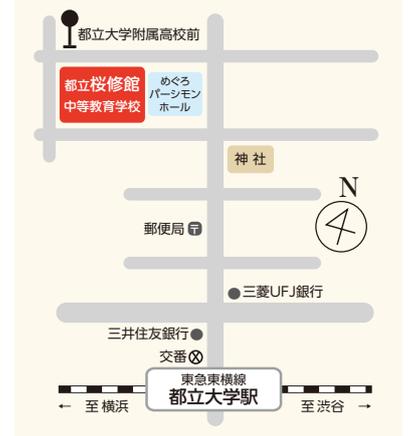
7. 合格者等の決定

- (1) 検査等の取扱い
合格者等の決定には、報告書、適性検査の結果を総合した成績(以下「総合成績」という。)を用います。それぞれの満点は、次のとおりとします。
- (2) 合格者等の決定
ア 男女別の合格候補者を、それぞれの募集人員まで総合成績の順に決定します。
イ 上記アで男子(女子)が充足しない場合は、合格候補者となっていない女子(男子)から募集人員まで、総合成績の順により充足します。
ウ 募集人員に対して過不足のないように入学者を決定するため、合格候補者となっていない者のうちから、男女合同の総合成績の順により、一定数の者を繰上げ合格候補者として決定します。
エ 上記ア、イで定めた合格候補者を合格者、ウの該当者を繰上げ合格候補者として決定します。

報告書の換算点	適性検査Ⅰの満点	適性検査Ⅱの満点	総合成績(得点合計)
300	200	500	1,000



最寄駅	東武練馬	46分
	練馬	38分
	吉祥寺	45分
	調布	49分
町田	48分	東武東上線
池袋	25分	池袋線
赤羽	40分	赤羽線
北千住	49分	北千住線
青砥	60分	青砥線
秋葉原	43分	秋葉原線
船堀	55分	船堀線
東陽町	40分	東陽町線
品川	25分	品川線
大井町	16分	大井町線
都立大学	10分	都立大学線



交通機関

- 東急東横線
渋谷駅より各駅停車 10分
「都立大学駅」下車 徒歩10分
- 東急バス
JR目黒駅より
(黒07) 弦巻営業所行き 約30分
「都立大学附属高校前」下車



Tokyo Metropolitan Oshukan Secondary School

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2
TEL. (03)3723-9966

<https://www.metro.ed.jp/oshukan-s/>



桜修館公式マスコットキャラクター
おうじろー
© 桜修館 & Ayu